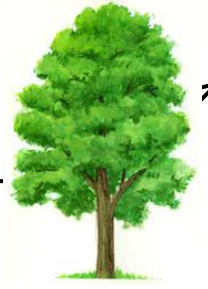




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年6月1日(水) No.4 文責 校長 島田 二郎



6 月になりました

6月になりました。学校は、第38回体育会を大成功で終え、今は落ち着いた日々を送っています。子ども達は元気に過ごしており、勉強や委員・係活動、部活動、諸行事に向けた取組に励んでいます。

さて、6月ですが、和名は「水無月」です。ここに使われる「無」は、「無い」という意味ではなく、「の」を意味するそうです。「水無月」とは、「田んぼに水を引く月」を由来とし、「水の月」という意味があります。これから田んぼに水が引かれ、苗が植えられます。そして、夏の間には苗は一気に成長し、実りの時期を迎えます。



稲作と学校生活を結びつけて考えると、学校もこれから多くの実を結ぶための活動が始まります。

まずは、1年生自然教室があります。その後は、中間考査、各学年の進路学習や総合的な学習の時間を使った「探究学習」、そして中体連やコンクールがあります。様々な行事が目白押しです。行事を成功させるためには、事前の準備が必要となります。今は、ちょうどその時です。体育会で培った前向きに取り組む姿勢や仲間と協力し作り上げる喜びや絆を基盤として、新たに創造していくことが望めます。体育会はとても大きな行事ですが、田んぼに例えると、田植え前のレンゲソウを捲くことに似ているところもあります。レンゲソウを捲き、その後、土を混ぜ、稲作に適した土壌づくりをします。体育会にも土壌づくりの役目があります。4月、新たな友達と出会い、新しい学級での生活が始まりました。初めは、「どんな人たちだろう」と思っていた級友ですが、体育会の取組をとおして、一気に団結します。お互いを励まし合い、体育会をとおして1つになろうとします。この取組が、これからの1年間の活動を支える土壌となります。体育会は終着点ではなく、1年間の活動の始まりです。体育会をとおして、一気に仲間との絆が深まり、学校、学年、学級が活気づきました。体育会で育んだものを、これからの学校生活でさらに高めることで、太宰府西中学校をさらに元気で明るく楽しい学校にすることができます。これから様々な『実』を結ぶ子ども達の活躍を期待します。



◎ 十分な健康管理をお願いします

日に日に暑くなってきました。日中は、25℃を超える夏日も何日かありました。体は急な暑さに対応できないこともあります。健康に過ごすために、次の点にご注意ください。

- ・気温も湿度も高くなり、じめじめした日が続きます。水筒やタオルの準備をしましょう。お弁当も食中毒対策をしましょう。
- ・暑くなると、熱中症対策として、マスクを着用せず、登下校することもあるかと思えます。一定の距離を空け、会話を制限するなど、感染症対策を継続させましょう。
- ・日が長くなってきます。その分、就寝時刻も遅くなるかもしれません。休養と栄養をとりましょう。

